



太田川河川事務所
記者発表・資料配布

記者発表資料 配付日時	平成30年7月6日 19:55 配付
----------------	-----------------------

■ 同時発表先 : 合同庁舎記者クラブ、広島県政記者クラブ、中国地方建設記者クラブ

梅雨前線による出水状況について（第1号）

太田川河川事務所が実施している、主な水防対応状況をお知らせします。

1. 被害等の状況

- ・根谷川右岸4k200付近（広島市安佐北区可部3丁目3-1付近）にて河川の水位上昇により、堤防が洗掘を受け非常に危険な状態となっています。付近の住民の方は、広島市の避難情報に従ってください。

＜問い合わせ先＞

国土交通省 中国地方整備局 太田川河川事務所

TEL 082-221-9245（災害対策支部直通）

副所長（河川） 大久保 雅彦（おおくぼ まさひこ）

[太田川河川事務所HP] <http://www.cgr.mlit.go.jp/ootagawa/index.htm>

安佐北区 国重区長様

太田川河川事務所
徳元

太田川水系根谷川洪水浸水想定区域図 (計画規模)



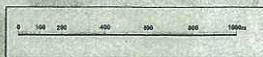
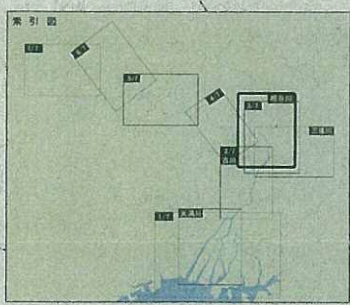
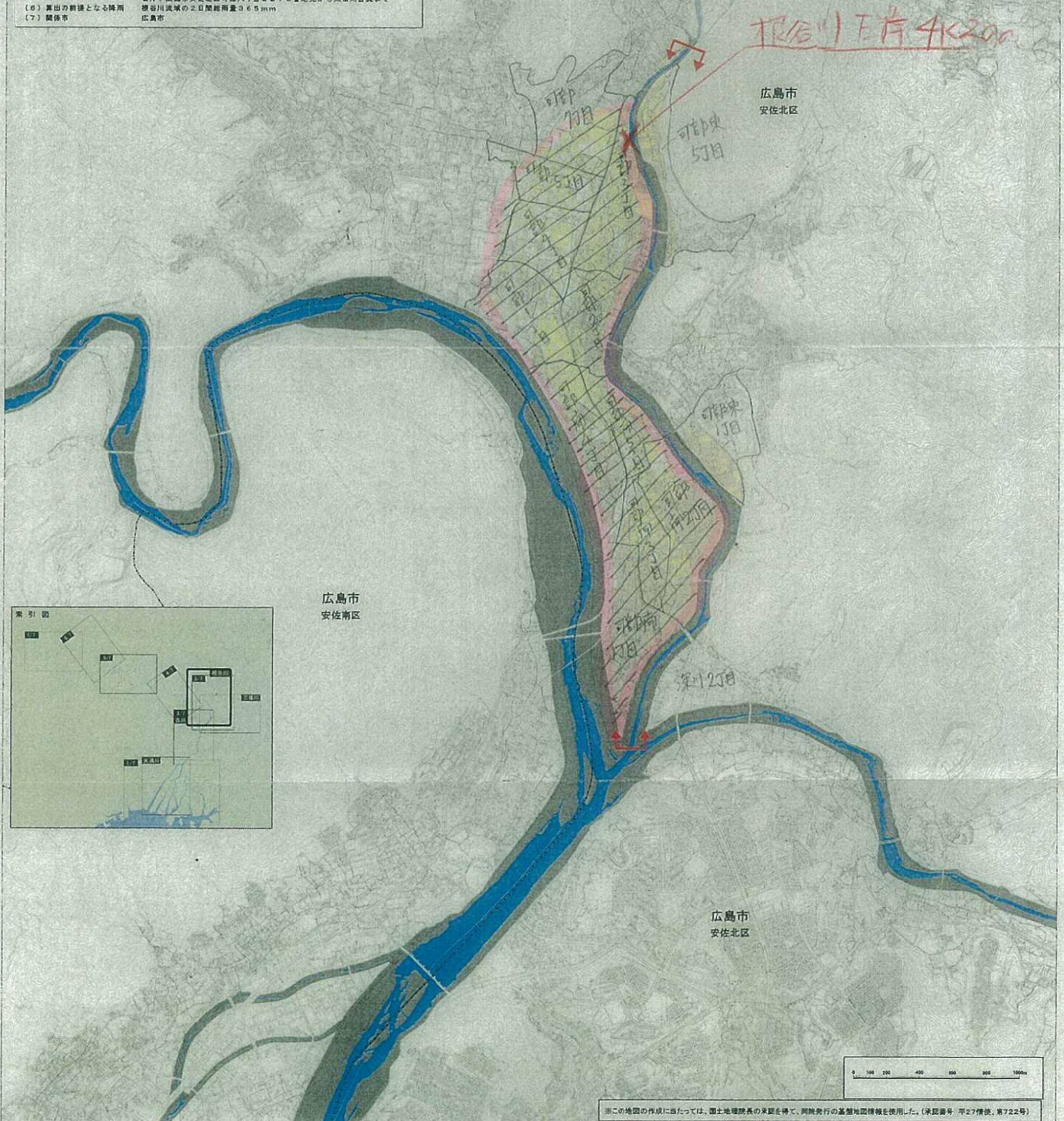
1 説明文

- (1) この図は、太田川水系根谷川の洪水予報河川について、水防法の規定に基づき計画降雨により浸水が想定される区域、浸水した場合に想定される水深を表示した図面です。
- (2) この洪水浸水想定区域図は、公表時点の根谷川の河道の現況状況を勘案して、洪水防制に関する計画の基本となる年経過雨量1/100(毎年、1年間にその規模を超える降雨が発生する確率が1/100(1.0%))の降雨に伴う洪水により根谷川が氾濫した場合の浸水の状況をシミュレーションにより予測したものです。
- (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、支川の(決壊による)氾濫、シミュレーションの前線となる降雨を超える規模の降雨による氾濫、雨水出水及び高潮による氾濫等を考慮していませんので、この浸水が想定される区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2 基本事項等

- (1) 作成主体 国土交通省中国地方整備局太田川河川事務所
- (2) 公表年月日 平成29年4月19日
- (3) 告示番号 国土交通省中国地方整備局告示第45号
- (4) 根拠法令 水防法(昭和24年法律第133号)第14条第2項
- (5) 対象となる洪水予報河川 太田川水系根谷川
左岸: 広島市安佐北区可部町大字下野屋字土居426番の2地先から太田川合流まで
右岸: 広島市安佐北区可部町八丁目2270番地先から太田川合流まで
根谷川流域の2日間総雨量36.5mm
広島市
- (6) 算出の前線となる降雨
- (7) 関係市

凡 例	
浸水した場合に想定される水深(センチメートル)	
10.0~20.0m 水深の区域	
5.0~10.0m 水深の区域	
2.0~5.0m 水深の区域	
0.5~2.0m 水深の区域	
0.5m未満の区域	
市界	
河川	
対象となる洪水予報河川の区域	



※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基礎地図情報を使用した。(承認番号 平27情授、第722号)

太田川水系 根谷川 右岸 4.1k

広島県広島市安佐北区可部 上市井堰

